

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
組織	意見反映	一体化することで、市民の意見が反映されにくくなると思われませんが、その点しっかりと市民の意見を届ける場は設けられますか。	企業団には、各構成団体議会より選出される議員で構成される『企業団議会』、全構成団体の長で構成される『運営協議会』が設けられます。 大和郡山市の意見は、企業団議会の議員や運営協議会の市長によって企業団の経営に反映されてまいります。
組織	民営化	水道事業を任せる業者(企業団)は信用できるのか。	企業団は民間事業者ではなく、地方自治法における一部事務組合(特別地方公共団体)です。企業団は民営化などはしないことを基本計画にて明記しています。
組織	民営化	企業団になったときに安全安心な水かどうか心配。外資などの企業に民営化になるのか。	
組織	水質	ちゃんと管理された水を流してくれるのか不安です。	これまで本市の水質検査は、本市も参加する奈良県水質検査センター組合に委託して行っておりました。企業団設立に伴い、同組合も企業団に参加して水質検査部門となるため、本市の水もこれまでと同じ検査体制で行われることとなります。
組織	水質	企業団で行われる検査以外に大和郡山市でも水道水の検査を実施してほしい。	
組織	市民対応	県域水道一体化による現在の市の水道事業体制はどう変わるのか。	一体化後も今までどおり大和郡山事務所として企業団に派遣された職員が勤務します。市民対応やご家庭の敷地までの漏水対応など今までどおり行ってまいります。
組織	市民対応	今までは、市に電話すれば対応してくれたが、企業団になった時はどのような対応になるのか。	

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
組織	事業者	市の水道事業者指定制度はどうか。 県すべての業者に水道工事を依頼できるのか。	給水装置工事事業者の指定制度については企業団に引き継がれるため、企業団に指定登録されている業者に給水装置工事を依頼していただくこととなります。
組織	経営	他の市町村の赤字をどう把握されているのか。どう解消していくのか。	企業団全24団体(磯城郡3町で1団体)のうち、黒字団体が16団体、赤字団体が8団体です。全ての団体では令和4年度決算で、6億3,900万円の黒字となります。
組織	奈良市参加	以前は内部留保資金は守りますと言っていたのに、現在は一体化に参加し内部留保資金は企業団に引き継ぎ、北郡山浄水場は廃止と判断されている。 奈良市が一体化に参加するとなれば、奈良市の大きな緑ヶ丘浄水場があるので、昭和浄水場が必要なくなるのでは。	新たな団体(奈良市など)が参加する場合には、構成団体すべての議会の議決が必要です。極めてハードルが高く現時点で新たな団体の参加は想定しておりません。奈良市も単独でいくことを決断されています。
メリット・デメリット	メリット・デメリット	企業団に入るメリットが、いまいち分かりにくい。	昭和浄水場などの施設の更新と管路の高い更新率の維持による老朽化対策(耐震化)の促進を図り、水道料金の上昇を単独経営より抑えられることが主なメリットです。
メリット・デメリット	メリット・デメリット	メリットの話ばかりでデメリットの項目についても話を聞きたい。	一体化に参加した場合は北郡山浄水場を令和8年度に廃止することは残念に思います。 しかし、単独経営で行ったとしても将来の水需要を考えると、北郡山浄水場に多額の更新経費(25億円)をかけて存続しなくても、昭和浄水場が存続すれば県営水道と合わせて賄うことが出来る時期がやってくるので、北郡山浄水場の廃止は検討が必要になってまいります。

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
水道料金	医療・介護	<p>市内の医療法人、社会福祉法人は、合計49法人で口径40ミリの場合、平均月額37,188円、口径75ミリの場合は月額108,642円の値上げが県域一体化で行われます。私に関係する医療法人でも、毎月5万6千円から6万6千円に値上がりすることが調査で分かった。</p> <p>今後、県一体化で水道料金の値上げが行われ、経営の危機を引き起こしかねないと思うが、お考えは。</p>	<p>一体化後の当初5年間は現行より水道料金が上がる場合は、現行料金となる“経過措置”が設けられ、値上げではなく現在の水道料金となります。6年目以降の経過措置については、次回の料金を検討する際に多角的に協議されて決定いたしますが、医療法人・社会福祉法人の負担については協議会においても充分認識されており、配慮される項目として取り上げられるものと考えております。</p> <p>一方、単独経営の場合におきましても、現在40ミリで平均103,860円、75ミリで平均287,080円の水道料金ですが、6年目以降はシミュレーションによる供給単価によって比較した単純計算では1.45倍の料金値上げとなり、大きな課題となってまいります。</p>
水道料金	大口徑	<p>口径別の計算で、大型の口径が資料にはない。大口徑は値上がりするところも多い。なぜ資料に載せなかったのか。</p>	<p>説明会では、契約数の大部分を占める一般家庭層を中心に説明させていただきました。中・大口徑の具体的な水道料金につきましては、資料12頁の料金表を参考に計算をお願いいたします。</p>
水道料金	下水道未普及	<p>水道料金の計算の中で下水道管の工事をしていない地区の部分の計算はどうなっているのか。</p> <p>下水道工事が終わっている所と終わっていない所との水道料金の予想額を分けて算出してほしい。</p>	<p>説明会では上水道料金についてのみ記載させていただいています。下水道につながっていない地域については、検針では水道料金のみ計算となります。</p>

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
シミュレーション	更新率引き下げ	<p>単独で事業を継続するためのシミュレーションをされたのですか。1.3%～1.5%で計画を進める率を再検討することはできないのですか。</p>	<p>単独経営における更新率1.3～1.5%と0.8～1.0%の比較をしておりますが、管路は高い更新率でなければ老朽化対策と耐震化が進まないため、高い更新率を元に耐震化を進める必要があります。</p>
シミュレーション	補助・交付金	<p>広域化に参加しなくても、国からの補助が受け取れることを見落としていた。</p>	<p>単独で受けられる交付金は広域化にかかるもの(国・県合わせて企業団へ422億円)ではなく、病院や避難所への管路の更新費用で、交付率は1/4、管路更新総延長の約8%となります。 この交付金の活用には、交付対象となる部分を選定し5か年計画に基づいて実施していく必要があり、漏水の多い箇所に対応が後手に回る可能性があったため、交付金の活用が難しいと判断していたものです。</p>
シミュレーション	給水原価	<p>水道料金やシミュレーションが簡単な形で出しており、給水原価に基づくシミュレーションをやっていない。</p>	<p>『単独経営と一体化の比較』は、『単独経営で水を作る費用と買う費用の比較(給水原価の比較)』ではなく、各家庭まで送水する費用やメーターの検診費用など全ての費用をあわせた中で、単独と一体化との供給単価の比較が有効とと考えております。</p>
内部留保資金	減少理由	<p>水道事業会計決算収支で毎年約2億円の純利益でているのに内部留保資金が減少しているのはおかしいのではないか。</p>	<p>令和5年度見込で例えますと、資本的収支が8.3億円不足する分を、現金ベースでの収益的収支から補填(5.2億円)しても足りないので、内部留保資金を取り崩して3.1億円補填しています。純利益は出ていても、資本的収支でそれ以上の資金不足が発生していることから、補填することにより減少しています。</p>

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
内部留保資金	資金引き継ぎ	内部留保資金は大和郡山市の水道保全の為に保全すべきではないか。 拠出することは理解できない。	令和5年度末で69.1億円を見込んでおります。内部留保資金の資金引継ぎについては、市広報紙『つながり』やHPなどで報告させて頂いております。 本市の水道事業は現在健全な経営状況ですが、今後の浄水場の更新と老朽水道管の更新(耐震化)が課題となっています。高い更新率を続けてながら将来の水道料金の大幅な値上げの抑制を図るため、一体化に参加する準備を進めております。
内部留保資金	資金引き継ぎ	令和5年度末の内部留保資金はいくらですか。 一体化に参加するには資産をすべて企業団に引き継ぐことになっていますが、市民に報告していますか。 それだけの資産があるのに、なぜ一体化に参加するのですか。	
内部留保資金	資金引き継ぎ先	令和7年度に一体化に参加した後令和8年度に北郡山浄水場が廃止になるが、資産は県のものになるのか。	奈良県ではなく企業団へ資産が引き継がれます。企業団は大和郡山市を含めた構成団体※による一部事務組合(特別地方公共団体)です。 ※奈良県、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、宇陀市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町
内部留保資金	ルール化	内部留保資金などの資産を持ち込むルールは認められず、資産を企業団に引き継ぐことになり、県が大和郡山市に優先的に投資することばかり書かれている。	優先投資枠13.4億円は、全団体の資産で平均を出して平均を超えた分の率等から算出するなど、全団体の共通のルールのもと決められております。

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
公営企業会計	経営	市役所を建てるのに大金を使い、水道にかけるお金はないということですか。	水道事業は市役所などの一般会計と異なり、公営企業会計にて独立採算で行う必要があります。皆さまの水道料金などの収入で経営させて頂いております。今の高い管路更新率で事業を進めると数年後には内部留保資金(預金)が大幅に減少いたします。今後も皆さまのご家庭などに水を届ける水道管の更新して老朽化対策(耐震化)を推進していくと同時に将来の水道料金の値上げを抑制できるよう検討を行っております。
公営企業会計	経営	市役所の建設より水道の老朽化の対策にお金を使ってください。お金よりお水が大切ではないのですか。	
公営企業会計	経営	市の財政のあり方の検討が足りない。	
浄水場	自己水	一体化になれば自己水がなくなるのですか。能登半島地震を教訓にして、市民の水を守ることが大事なのでは。	北郡山浄水場は廃止になりますが、昭和浄水場は存続します。
浄水場	北郡山浄水場	廃止される北郡山浄水場は後にどうされるのですか。	企業団発足後(令和7年4月以降)に利活用方法や売却など企業団で判断してまいります。現時点では決定しておりません。
浄水場	北郡山浄水場	北郡山浄水場が無くなれば、その場所(跡地)はどうするのか。又、地域住民への説明・相談はあるのか。なければ意見を伝える機会を実施してほしい。	

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
浄水場	北郡山浄水場	大和郡山市の財産は、市民の生命を守るため守って下さい。水源は守って下さい。北郡山浄水場は廃止しないで下さい。	<p>北郡山浄水場の存続には、ろ過池や深井戸の更新に約10億円、電気機械設備の更新に約15億円が必要で、総額約25億円を必要とする見込みです。</p> <p>本市では、災害時、初期段階では水の貯水による命をつなぐ水が重要で、その後は各家庭で蛇口から水が出て普段の生活を取り戻すことが大切だと考えており、管路の耐震化が喫緊の課題と捉えております。</p> <p>このまま北郡山浄水場を存続すると、管路の耐震化と合わせて多額の費用がかかり、今ある内部留保資金(69.1億、R5末見込)をもってしても数年後には足りなくなり料金の大幅な値上げが必要となってまいります。</p> <p>一体化に参加すると北郡山浄水場は廃止となりますが、国の交付金と県の財政支援を活用することで、水道施設の耐震化の推進を図ります。昭和浄水場では施設更新のほか災害時等のバックアップ機能の確保として、停電時にも安定送水できるようポンプ等の非常用電源を確保してまいります。他の県内の浄水場も強靱化されますので、一体化を起因とした災害時のリスク増はないと考えております。</p> <p>また、管路の更新(耐震化)についても、高い更新率で積極的に耐震化を推進することが可能です。</p>
浄水場	北郡山浄水場	災害時自己水源は重要で、北郡山浄水場は必要です。	
浄水場	北郡山浄水場	北郡山浄水場廃止は反対です。水道、浄水場にちゃんと多額の費用を使って下さい。	
浄水場	北郡山浄水場	経済的なことばかり市は言いますが、命が優先なので浄水場は残してほしい。	
浄水場	北郡山浄水場	広域化になると、各地被災地で水道問題で困っています。なぜ北郡山浄水場を閉鎖してまで広域化に参加するのですか。災害は自己水源がある地域ほど、水道の再開が早いです。なぜ広域化か、資源を使えば、北郡山・昭和浄水場水源の修理や拡大も可能ではありませんか。	
浄水場	北郡山浄水場	管路の耐震化のみならず、水源の確保は重要だと考えています。現在、市内2つ浄水場があり、震災時も市内の水道をカバーできるほどの水源をなくすことが大きなリスクだと思いますが、本当にリスクは無いのでしょうか。	
管路	老朽化	今までの水道の老朽化をほったらかしにしてきた結果が出ていますね。	
管路	耐震化	水道管を地震対応なものにしてるのですか。もっと早く交換しないとイケないのでは。	

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
管路	耐震化	長い距離の水道管を吉野から引く、途中の配水管漏れ、断裂などが不安です。	令和4年度末現在、県営水道の基幹管路の耐震適合率は75.0%となっており、全国平均を大きく上回っております。平常時は、御所浄水場からのルート、御所浄水場からの減水や断水の場合には、深井戸を水源とする昭和浄水場の自己水に加え、桜井浄水場からの別ルートでの受水が可能となっています。
管路	耐震化	地震などで、パイプラインが分断されたら、その場所を探すのが大変。能登半島でも今も元にかえてない。	一方、本市の全管路の耐震化率(令和5年度末)は18.7%となっており、耐震化の遅れが課題となっています。一体化に参加することで高い更新率の維持による管路の老朽化対策(耐震化)を促進し、管路分断の防止対策を図れるものと考えております。
水質	水質	北郡山浄水場の水質は良い。古来から良い水の出る所に、権力者中心の核ができる。	本市2浄水場(北郡山・昭和)や県営2浄水場(御所・桜井)など、全ての浄水場で水質基準を満たしています。
水質	距離	遠い御所からのパイプライン、水が変質するのではないですか。塩素がたくさん含むのではないですか。	現在、矢田山系配水区域の水は100%県営水道であり、距離の問題で水が変質したりはいたしません。塩素は、浄水過程において消毒殺菌のために入れられるものであります。
防災・災害	防災対策	防災について、自己水必ず必要、守ってほしい。南海トラフ地震の後に、県全体すべて、復旧して、一体化すればよいのでは。	一体化に参加し国の交付金と県の財政支援を活用し、水道施設の耐震化と強靱化をすることが、想定される大規模災害の時の被害の軽減に繋がります。安全で安心な水道水を将来にわたって持続的に供給することが一体化の目的です。

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
防災・災害	災害対策	南海トラフ地震など予測できない。万全の対策をとらないとだめだがどう思っているのか。	災害対策として、家庭まで水を届けるために、耐震化など管路などの更新が重要であると考えています。一体化に参加することにより、高い管路の更新率(耐震化)の維持と水道料金的大幅な上昇を抑制が図れます。また、御所浄水場からのルートが被災したときは、桜井浄水場からのバックアップルートを確認しており、配水池には約2万4千～3万m ³ の水を貯水しております。
防災・災害	災害対策	能登半島地震の教訓が示されていない。	
防災・災害	リスク	大和郡山市民にとって大事な「水」を県一体化に委ねることについて、想定されるリスクについて検討された事がありますか。あったとすれば、どのような内容についてですか。	大和郡山市民にとって大切な「水」のリスクは、将来における災害時に、管路の耐震化の遅れから、管路が被災して家庭の蛇口から水が出る普段の生活を取り戻すのが遅くなること、管路の更新率を高めた際に将来の水道料金的大幅な値上げの2点と考えています。なお、一体化は参加の県・市・町・村が共同で経営するものとなります。
防災・災害	災害対応	10日分の水が無くなるとどうするんですか。地震の時、災害の時どうするつもりですか。	単独経営でも一体化に参加しても、本市に常時貯水されている水の量に変わりはありません。一体化に参加し国の交付金と県の財政支援を活用することで、高い更新率の維持による管路の老朽化対策(耐震化)を行い、昭和浄水場を更新存続することが災害対策に繋がると考えております。

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
防災・災害	災害対応	能登半島地震の場合、県水から送水されていたが破断して、今も復旧していない。桜井と御所からのバックアップルートが破断することもありうるのでは。発生から3日まで一人3リットルでは足りない。復旧には時間がかかり、10日間程度の応急給水では足りない。自己水を持っているなら残すべき。	災害対策として、家庭まで水を届けるために、耐震化など管路などの更新が重要です。一体化に参加することで料金の大幅な値上げを押さえながら、管路の高い更新率を維持することが出来ます。また、県営水道施設や管路の耐震化も進んでおり、両方同時の破断があるようなことは考えにくく、配水池には約2万4千～3万㎡の水を貯水しておりますので、応急給水は可能となります。
防災・災害	計画	施設整備について、当初10年間で151.5億投入してもらえると書かれています。70億ほどを持ちよって、もし10年以内に大地震が来た場合、持ち金がなくて広域に資金が分散したら大和郡山市はどう動くことが出来るのですか。	水道行政が令和6年度から国土交通省などへ移管され、災害復旧費用など災害対応が強化されています。また、施設の整備については、企業団として経年施設更新計画に基づき実施されるものであり、本市の施設整備予定についても当計画に明記されております。
防災・災害	水源	県水の水源である大滝ダムに全てを委ねるに足る安心安全なダムなのでしょうか。地震の耐震強度は大丈夫でしょうか。	一体化後は北郡山浄水場は廃止されますが、昭和浄水場は存続いたします。よって大滝ダムに全てを委ねるものではありません。また、大滝ダムは南海トラフなど現在から将来にわたって当該地点で考えられる最大級の強さをもつ地震動(レベル2地震動)にも耐えうる構造となっております。
防災・災害	災害対応	「市民」の水の安全・安心な確保には、必要施策と考える。能登の件を見ても、施策を実行できる「体制」、水道業者を含め、担い手の確保が重要である。	企業団においても水の安全・安心な確保は必要施策と考えており、水道事業者などと連携しながら対応してまいります。担い手となる水道関係人員は、奈良県内において熟練職員の退職などにより年々減少していることが課題となっております。企業団では、一体化で市町村の区域を越えた採用による人員を確保し、広域で技術の伝承を行って人的資源を有効活用していくことも目的としています。

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
防災・災害	渇水対策	<p>ダムの水が枯渇した時に、北郡山浄水場がなくなって、昭和浄水場だけで持ちこたえられるのか。北郡山と昭和浄水場の両方存続のシミュレーションも必要なのでは。北郡山浄水場の廃止を前提とした理由は</p>	<p>大滝ダムが出来てから奈良県の水事情が良くなりましたが、北郡山や昭和浄水場などの施設を維持するのにいくら費用がかかるのかという問題が出てきており、実際の収入の状況などを考えて、一体化への選択が示されてきました。北郡山浄水場が廃止になり、自己水が減るのは事実ですが、配水池の貯水などもあり、応急的に対応は可能であると考えられ、将来のことも見据えて一体化による選択による判断になりました。</p>
一体化参加	将来	<p>水道収益の減少、老朽化対策を考えると何か今のうちに対策を打たないと将来的に水道料金の高騰、水質の低下を招くことは必須。一体化はその対策の1つであると考え、「痛みの無い改革は無い」。</p> <p>この決断はきっと大和郡山市の未来にとって将来的に良い選択になると思う。</p>	<p>ご意見のとおり、本市と致しましても現在の状況から将来を見据えて一体化参加に向けた奈良県広域水道企業団設立準備協議会への参加となりました。来年4月に事業開始となる一体化への参加については、本年9月議会で判断を仰ぐこととなります。</p>
一体化参加	一体化の目的	<p>県の取水をダムで行っているが、県がダム作成時水道用水費用分としての使用量になっているのか。県の助けのための一体化ではないのか。</p>	<p>県域水道一体化は、人口減少に伴う給水収益の減少や施設の老朽化の進行など、将来にわたり単独経営を続ける上で困難な課題を抱えている中、広域で連携することで、施設の老朽化対策・耐震化等による強靱化と、財政基盤の強化を図ることにより、安全で安心な水道水を将来にわたって持続的に供給することを目的としています。</p>

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
一体化参加	参加理由	県域水道に入らないと言っていたのに180度変更して入ることにしたのはなぜですか。勝手に変えないでください。	管路の更新費用の前倒し優先投資枠がルール化され、昭和浄水場の存続、持ち寄る資金以上の投資に条件が変更されたため、単独経営に比べて将来の高い更新率の維持と水道料金の大幅な値上げの抑制が図られる、一体化参加に向けて準備しております。
一体化参加	参加理由	市長は何があっても公約は守るべき…最初の公約を決める時は考えが甘かったという事ですか。	
一体化参加	参加理由	内部留保資金や地下水を守ると言ったのに、変更となったのはなぜか。	
一体化参加	広報	奈良市ですら参加見送りしたのに大和郡山市は明確な参加理由を発信していない。	広報紙『つながり』令和5年1月10日号において経緯を説明しており、3月に市議会にて議決を経て奈良県広域水道企業団設立準備協議会に参加となりました。
一体化参加	検討	企業団に入る前提になっていますが、まだつめが甘いと思います。もっと、検討されてからの方がいいと思いますが。	平成29年10月の奈良県・市町村サミットの後に数々の協議を重ね、令和5年3月に奈良県広域水道企業団設立準備協議会に参加となりました。その後1年以上をかけて具体的な内容を検討し、協議会の開催は4回、事務レベルを含めると計67回(令和6年5月末現在)の協議を重ね準備してきたところでございます。
一体化参加	検討	大和郡山市は健全財政なのになぜ一体化にのるのか。まず最初に参加を見送ったときに戻って、不参加にして欲しい。内部留保資金等たくさんあれば工夫して昭和と北郡山の耐震などの更新ができるのではないのか。貯水池は、地下水ではないので地震のときに崩れるのでは。	内部留保資金については、年々、管路の更新などにより減少しています。一体化に参加することで、持ち寄る資産以上の資金を得られ、当市の水道管や施設の耐震化に継続して投資できることができると考えられます。
一体化参加	別の方法	経営状況が良いのに奈良市や葛城市のように単独事業を選択しないのか理解不明である。隣接する奈良市と共同し、水道事業するのも一考ではないか。	本市の水道事業は現在健全な経営状況ですが、高度経済成長期に一気に整備された施設の更新が追いつかず、今後の浄水場の更新と管路の更新(耐震化)が課題となっています。高い更新率を続けてながら将来の水道料金の大幅な値上げの抑制を図るため、一体化に参加する準備を進めております。

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
一体化参加	県水受水	一体化に参加しないと現在県から給水を受けている量は確保できないのか。	一体化に参加するしないに関わらず、現在の給水量は確保できます。
他市比較	生駒市	事業費見込み30年間計で大和郡山市が233.8億、生駒市が252.0億で、生駒市がかなり事業費が多いがなぜか。大和郡山市は、内部留保資金の約70億円を引き継いでいくが、生駒市は大和郡山市の半分かくらいを引き継ぎするが、なぜか。	30年間の事業費が多いのは、生駒市は管路の延長が長いことによるものです。
広報	周知	議会は見られていない、つながりもどれくらい見られて理解されているのかのリサーチもしないといけない。アンケート調査をしてどれくらい、県水一体化を知られているか。	広報については市広報誌『つながり』やホームページを通じて情報は随時発信しているところでございます。
広報	周知	「市民説明会」の案内を『つながり』に分かりやすく書いてほしかったです。知らない人多いと思います。私も昨日知りました。	広報紙『つながり』、HP、LINEで広報させていただきましたが、表現方法等分かりにくい部分があったとのことで申し訳ございませんでした。
浄水場	広報	昭和浄水場が残ることを今初めて聞いた。市民に対しての説明不足では。	広報誌「つながり」やホームページで昭和浄水場は存続することを説明させていただいています。また、前回の市民説明会(令和5年1月22日開催)においてもご説明させて頂いております。
浄水場	広報	去年の1月からの『つながり』で4回とも北郡山浄水場の廃止が書かれていない。	『つながり』の令和6年5月1日号にて北郡山浄水場の廃止について記載させて頂いております。

【県域水道一体化参加についての質疑回答】

内容	詳細	質問内容	回答
広報	広報の仕方	施設の更新や補助金や北郡山浄水場の廃止について、話をされていたが、真実を伝えられていない。考え方を一方的に広報誌を使って報道しているのが問題。	事実に基づいた議論として、市の行政としての考え方ということをご理解いただきたいと思います。また、最終的には議会の議決が必要なことも明記したうえで、議論いただきたいと思います。
説明会	分散開催	説明会を2回しか行ってない。再三に渡って説明会を求めているが、小学校区、中学校区単位で説明会を行うべき。	説明会の開催は本市全域にかかる案件であるため、本市の考え方や参加者の御意見・御質問を共有することも考え、1回での開催となりました。当日質疑を行えなかった方には質問用紙にてのご回答をさせて頂いております。
説明会	分散開催	きめ細やかな説明会が必要。広い会場では質問しにくい。	
説明会	分散開催	高齢者や夜出にくい人のために、出前で説明会を。そこで意見のリサーチを。	
その他	受益者負担	「受益者負担」をもっと考えるべきだ。	
その他	落札率	水道管工事は、生駒市では予定価格の85～91%で落札されていますが当市では95%前後なのはどうしてですか。	工事入札の際は、設計価格＝予定価格(上限)と最低制限価格(下限)の間で一番有利(安価)な条件で応札した業者が落札することとなります。また、最低制限価格の算定方法も自治体によって異なるため、各自治体で落札率に差が出ることは致し方のないことと考えます。なお、本市の最低制限価格は国・県と同じ方法で算定しています。